

イベント及び商工観光課のあり方について 一般質問



中右 憲利
(21 政会)

問 フラワーセンターでの夏祭りもいい雰囲気ではあるが、多大な市の資金、人的資源を使うのであればもっと加西市の活性化を考えるべき。もう一度市役所周辺に戻して、まちなかの活性化に寄与するお祭りにすべきではないか。

答 一般的な市民の声として、市街地の開催が望ましいという意見、施設内での祭りでは雰囲気周りに伝わってこないという声も聞こえてきています。議員の提案、市民及び各種団体の声を参考に、まちなかに戻すことも選択肢の一つとして、実行委員会

で協議をいただいて決定する方向に進めたいと思っています。

問 トライアスロン大会についても多大な市民の税金と人的資源が投入されているが、今一つ盛り上がり欠けると思う。今後どのようにするつもりか。

答 来年3回目の節目を迎え、その実績をもって、市民の評価及び観光PRの効果を検証し、実行委員会で一定の方向性を出せるような形にしたいと思っています。

問 商工観光課について、イベント屋さんになってしまって、商業、工業の振興の方に手が回っていないのではないかと懸念がある。少人数で多くのイベントと商工振興、労働者福祉、空き家バンク等、多くの重要業務を抱える商工観光課の今後のあり方についてどのように考えているのか。

答 かせい・夏っ彩・夢フェスタ、トライアスロン、北条の宿はくらんかいが主なイベントで、実行委員会組織で運営をしています。その他婚活イベント、近隣市町の物産展等、30以上のイベントに関わり、ごく少数の人員で対応している実情です。今後は、観光まちづくり協会の自立、独立した体制もまた望ましいのではないかと考えています。近隣においても観光協会の強化が図られており、加西市でも体制を強化して、持続的な市民参画が得られるようなシステムづくりを進めたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・基幹道路の整備について
- ・北条南保育所と北条東幼稚園の統合園の今後の予定について
- ・フラワーセンターについて
- ・玉丘史跡公園について

5万人都市再生に向けた取り組みについて 一般質問



井上 芳弘
(日本共産党)

問 現在の加西市の人口の状況は、この10年間で4,500人、最近5年間で2,700人という人口減少が続いている。この状況を改善しようとするならば、国策による全国的な取り組みがなければ困難な数字で、そのことにこだわるのは逆に市長に対する信頼を失うことになりかねないのではないか。

答 政治に対する信頼ということ、やはり言ったことをちゃんとやりあげることが、政治に対する信頼を取り戻すことだという、私の強い信念です。マニフェストの着実な実現、そして市民全体の目標として5万人を目指すということはスローガンだけでは

なく、私は本当に5万人の都市をつくるということを訴えましたので、最後まであきらめずにやっていくことが、政治に対する信頼を取り戻すことだと思っています。

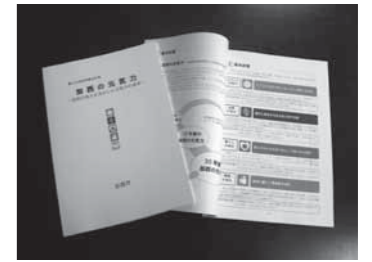
問 加西市の行政のトップとしてそういった気概、思いで全力で職員も含めて市民にも訴えられ、全市的な取り組みの中で流出を抑え、増加に転じていくことができるという市長の思いとして受けとめたい。

改めてこの間総合計画に従って展開されてきた施策の評価、効果等についてお尋ねする。

答 中学3年生までの医療費の無料化、多子世帯の保育料の軽減・助成の拡大、水道料金の値下げ、就職情報サイトを活用したふるさと就職支援、親の婚活サポート事業等の人口増政策を実施しています。また、今後の施策の検討に向けた子育て支援アンケート、市街化区域内農地の利用促進のアンケー

ト、転入出者へのアンケート、住民登録に関するアンケート等を実施してきました。

いずれも実施して間もない施策であり、現時点での検証は困難ですが、各施策の有効性や継続性について、十分検討を行った上で進めていく考えです。



第5次加西市総合計画

■その他の質問項目

- ・平成25年度予算について
- ・保育園、幼稚園の統廃合、民営化について
- ・日本国憲法と平和主義について

行財政改革プランについて 一般質問



松尾 幸宏
(清風会・誠真会)

問 西村市政になり、子育て定住補助施策は充実し、水道料金の基本水量の見直しと値下げ、中学3年生までの医療費の無料化、若者世帯の持ち家促進補助制度、多子世帯の保育料の軽減制度、平成26年1月からは全中学校での給食実施、25年度には新婚世帯の家賃補助の復活、奨学金の補助等、加西市は確実に住みやすいまちへと変わりつつあるが、財政は大丈夫なのかと心配になっている。23年度の決算と、24年度の予測はどうなっているか。

答 23年度決算においては、市税及び交付税の増加、あるいは不用額の発生や行革改善額1億4,400万円の効果により、歳入歳出差し引きで約6億1,000万円の黒字ということになりました。これは計画に比べて約1億円の増加ということになっています。補正後の財政調整基金と減債基金を合わせた基金残高は、予定より約5億円多い約20億7,000万円となる見込みです。

他市との職員数及び人件費の比較について

問 行財政改革プランにおいて改善額のほとんどが人件費だが、加西市の職員数、人件費は他市と比べてどうなっているのか。

答 し尿やごみ処理などの事務組合への参加の有無や、公立保育所、幼稚園の数によって各種条件が異なるため比較は困難です

が、その部分を除いた一般行政職比較では加西が北播で一番少ない職員数であり、また一人当たりの給与費も最低となっています。小野市と比較すると、23年度決算比較では職員数は25人少なく、人件費については、加西市27億4,600万円、小野市30億100万円と2億5,500万円少なくしており、市民一人当たりの人件費も加西市5万9,111円、小野市6万287円となっていますが、単純比較は非常に困難です。

■その他の質問項目

- ・土地利用計画について

県道下滝野市川線の通学路整備について 一般質問



織部 徹
(21 政会)

問 県道下滝野市川線の日吉保育園付近からサクライズミの交差点までは、地図訂正の調査が終わり、後は買収、来年秋には工事にかかれる予定と聞いているが、そこから馬橋までの道路及び歩道整備の進捗状況についてお聞きしたい。

また、馬橋から以東については狭いながらも歩道があったり、道路際に少し余裕があるところもあるが、馬渡谷町では道幅が狭くなり、特に二ツ池までの間は狭い状況である。二ツ池辺りは冬期には日当たりが悪いため、雪解けも遅く、道路が凍結する。中学生が自転車通学し、また日吉小学校の通

学路でもある。危険回避のために道路を拡張し、歩道を早く整備をしてほしいが、その計画があるのか。

答 現在日吉保育所前からサクライズミの交差点までの地図訂正を行い、日吉保育所前から和泉交差点までを平成24年度中に用地売買契約をして、平成25年度の秋以降に工事着手の予定と聞いています。また、サクライズミの交差点から馬橋まで現在地図訂正業務に着手しているとのことですが、

二ツ池付近の歩道を含む道路整備計画については、現在予定はないとのこと。ただ、自転車通学の生徒の通学に支障を来していると思われるので、市として、加東土木事務所へ整備を要望していきます。

問 日吉保育園からサクライズミの交差点のところまで工事に

かかれることについて、本当に感謝する。馬橋のところまでも調査されているようだが、まだ狭くて危険なところがあるのでお願いしたい。

馬渡谷町の二ツ池のところは、非常に人通りも少なく、冬には凍てる。二ツ池のところだけでは済まないと思うが、馬橋を越えてからずっと整備を続けていただきたいと思うがどうか。

答 馬橋から二ツ池付近でちょうど狭小になっているので、平成26年度に社会基盤プログラムに載せていただくように要望していきます。

■その他の質問項目

- ・加西市の教育の充実について